

## 2月 入荷情報

東京多摩青果株式会社 開発課

2026年1月27日発行

野 菜		果 実	
初荷予定			
・ 上旬～			
筍	福岡・熊本	普通温州みかん 徳島	
蕾菜	福岡		
・ 中旬～			
ピーマン	茨城	清見	和歌山
		紅八朔	和歌山
・ 下旬～			
茄子（半促成）	群馬		
春キャベツ	神奈川		
入荷予想			
<p>【葉茎菜類】キャベツは秋冬産地は生育順調。平年並みの出回り予想。白菜は関東産地は生育順調。平年並みの出回り予想。レタス類は秋冬産地は生育順調で茨城県産の出荷量増加の為、平年より出回り多い予想。非結球レタスは秋冬産地が前進出荷傾向。平年並みの出回り予想。ブロッコリーは秋冬産地が低温・干ばつの影響を受け、平年より出回り少ない予想。葱は関東産地が生育遅れから回復し、平年並みの出回り予想。法蓮草・小松菜は低温・干ばつの影響が大きく、平年より出回り少ない予想。にらは関東産地の作型が切り替わり、平年並みの出回り予想。</p> <p>【果菜類】胡瓜・ピーマンは西南暖地中心に低温・干ばつの影響があるが、平年並みの出回り予想。トマト・ミニトマトは西南暖地が前進出荷傾向の為、平年より出回り少ない予想。茄子は西南暖地中心に低温・日照不足の影響があるが、平年並みの出回り予想。</p> <p>【根菜類】大根・人参は関東産地の出荷ペースが落ち着き、平年並みの出回り予想。蓮根は年明けの残量は例年より多く、平年より出回り多い予想。</p> <p>【芋玉類】馬鈴薯は北海道産の切り上がり早く、九州産は生育順調。平年より出回り少ない予想。玉葱は北海道産の切り上がり早く、静岡・九州産は生育順調。平年より出回り少ない予想。南瓜は輸入中心の入荷。上中旬はメキシコ、下旬はNZの予定。沖縄産は生育順調。平年より出回り多い予想。里芋は作柄不良だが、平年並みの出回り予想。</p> <p>【きのこ類】生椎茸は前進出荷及び低温の影響を受け、平年より出回り少ない予想。</p>		<p>【苺】上旬は九州産、静岡産の入荷量少なく、中旬以降増えてくる見込み。茨城・栃木・群馬・千葉産はガラガラ出荷の予定。全体的に上旬は少なく、中旬以降に増え、ピークを迎える予想。</p> <p>【みかん】静岡産「青島」は中旬まで入荷の予定。「寿太郎」は2日頃からスタートで、昨年対比85%程の見込み。L中心。徳島産は昨年対比90%程の見込み。2L=L中心。</p> <p>【りんご】青森産「サンふじ」「王林」「ジョナゴールド」中心の出回り。夏場の高温の影響で、各品目共に昨年対比95%程の見込み。36玉=40玉中心。</p> <p>【中晩柑】「ポンカン」「はるみ」は中旬で終了する見込み。「伊予柑」は3月中旬まで入荷の予想。「デコポン」「甘平」「せとか」「甘夏」「八朔」は前年より入荷量多い予定。</p> <p>【干柿】福島産は、平年より気温が低く、乾きが良く前進出荷傾向の為、中旬から数量が減ってくる予想。</p>	